

# 月刊 グラフィックサービス

## No.893 2026 4

株式会社遊文舎  
代表取締役社長  
木原 庸裕 さん



### ■ 巻頭企画

## 『AI時代のコンパクトDX』で売上・利益を伸ばそう!

page2026会場で見つけたそのヒント



### ■ 巻頭言

## 第68回ジャグラ文化典大阪大会開催を迎えて

—— 第68回ジャグラ文化典大阪大会実行委員長 / 株式会社遊文舎 代表取締役社長 木原 庸裕

### ■ 特別企画

## ジャグラ経営実態調査アンケート 2025

サステナブル委員会  
印刷業から地域創生へ — 井上総合印刷の挑戦

### ■ 連載

## SPACE-21 広報部 SPACE-21全国交流キャラバン in 山梨

### ■ NEWSとお知らせ

## 紙・板紙内需見通し報告 最低賃金引き上げに伴う支援・後押し 韓国印刷業界視察および交流活動レポート

# 第68回ジャグラ文化典大阪大会 開催を迎えて

第68回ジャグラ文化典大阪大会実行委員長  
(株)遊文舎 代表取締役社長

**木原 庸裕**



## CONTENTS

### ■ 巻頭言

#### 1 第68回ジャグラ文化典大阪大会開催を迎えて

— 第68回ジャグラ文化典大阪大会実行委員長  
(株)遊文舎 代表取締役社長 木原 庸裕

### ■ 巻頭企画

#### 2 『AI時代のコンパクトDX』で 売上・利益を伸ばそう!

page2026 会場で見つけたそのヒント  
— プライター・ライター 山下 潤一郎

### ■ 特別企画

#### 6 ジャグラ経営実態調査アンケート 2025

サステナブル委員会

#### 24 印刷業から地域創生へ — 井上総合印刷の挑戦

### ■ 連載

SPACE-21 広報部

#### 26 SPACE-21全国交流キャラバン in 山梨

### ■ NEWSとお知らせ

#### 10 2026年 紙・板紙内需見通し報告

#### 20 最低賃金引き上げに伴う支援・後押し

#### 22 韓国印刷業界視察および交流活動レポート

### ■ NEWSとお知らせ

#### 27 ジャグラBBホットニュース

#### 28 業界の動き

ジャグラ

MIS 研究委員会 「単品損益管理の教科書」を発刊  
会員の動き

くまがい印刷 “秋田に恋してメモ帳”を企画制作  
観光やイベント誘致のノベルティに

#### 19 雑学コラム④

#### 29 事務局日誌と今後の予定

#### 12 学校法人日本プリンティングアカデミー後援会

#### 13 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)

#### 14 リコージャパン(株)

#### 15 ホリゾン・ジャパン(株)

#### 16 東京リスマチック(株)

#### 17 (株)ショーワ

#### 18 (株)モリサワ

#### 19 (株)研美社

#### 表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

## 月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

### 【概要】

発行回数 月1回/年間12回

購読料 ジャグラ会員は無償(会費に含む)

・希望企業、団体への有償配布

配布方法 ・全会員へ直接郵送

・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

親愛なる JaGra 諸氏

いつもお世話になっております。2026年度のJaGra文化典大阪大会の実行委員長を仰せつかっております木原です。1年半前の2024年9月にキックオフした大会準備プロジェクトも開催まで後2か月。いよいよ大詰めです。

「未来を創ろう～叡智の台所 なにわの地にて」をメインテーマにスタッフ一同協力して練り上げたコンテンツも9割方完成し、細部の詰めを行いながら後は準備万端、みなさまをお迎えする段となりました。コンテンツの内容が参加者一人一人にどう響き、どのような未来を創ることに資するのか、それは参加者各人によって異なる部分ではあります。大会の真の目的は、良質なコンテンツを用意することで造られたプラットフォームにまずは一人でも多くのジャグリストたちが集うこと。交わること。そのことにより新たな出会いが生まれ、学びが育まれること。各々に新たな知見が生まれることによりそれらを持ち帰り、社業を発展させ、5年後10年後に「あの時の大阪大会での出会いや学びがあり今がある。参加して本当によかった」と思う人が一人でも二人でも現れること。そのような意義のある大会にすべく、スタッフ一同最後の詰めに当たっております。

印刷業界は斜陽産業と言われて久しく、暗いニュースも目立ちます。残念ながら退場を余儀なくされる方も少なからずいらっしゃいます。しかしだからといって未来を夢み現状にただ安住する、立ち止まるだけでは未来を創れないのではないのでしょうか。印刷業界にも素晴らしい会社、経営者、働く人、支えてくれる人、その家族の人たちも含めて多くの愛すべき関わる人たちがいます。私たち経営者はその人たちのためにも不撓不屈、粉骨砕身の心持ちで経営に取り組むべきだと思います。幸いなことに多くのジャグリスト、またそこにつながる業界の仲間たちには斜陽の中にあっても事業を拡張されている人、業績を伸ばし優秀なスタッフに囲まれ順風満帆の人が多くいます。大阪大会にもそのような方が多く来られます。優勝劣敗の優の方、玉

石混交の玉の方と積極的に交わり是非みなさまの課題解決、社業発展にお役立てください。経営者の課題は営業、マーケティングもそうですが、その他にも多岐にわたります。悩ましい採用問題、雇用の継続、事業承継など人の問題は最もたるものでしょう。それらの課題には全くの異業種、乖離した事業規模の経営者とは話が噛み合わないことも多いです。当然誰にでも気軽に相談できるわけではありませんので是非みなさま各人で、それらについても相談できる、お互い忌憚ない前向きな意見交換ができる本当の仲間を見つけてください。その点ジャグラには人間的に信用できる誠実な方がとても多いと思います。私自身、大会が終わってもそういう素晴らしい多くのジャグリストのみなさまとご縁を大切にしていきたいと考えております。

大会の成功の定義とは何なのか。定量的に測るとすればまずは一人でも多くの方にご参加いただくこと、これに尽きると思います。いくら立派な入れ物を用意しても、人が集わないことには意味がありません。参加するにはお金がかかります。遠方だと交通費も嵩むことは重々承知しております。しかしその投資分は充分回収できるだけの場づくりを一所懸命させていただきます。参加者のみなさまもともに良質な場づくりにご参画ください。

私自身、先代の頃からジャグラとそこにいる多くの人たちにいろいろなことを教わり、お世話になってまいりました。今回大阪大会の実行委員長をお引き受けさせていただくことができ、多くの人たちに支えられここまでやってこられました。最後まで気を引き締めて他でもない私自身が不撓不屈、粉骨砕身の覚悟で本事業をまっとうし、みなさま方への「報恩」がわずかでも果たせれば、この上ない喜びでございます。

最後になりましたが、大会を開催するにあたり多くのみなさまからご協賛いただきました。おかげさまで大会を開催できますことを心より感謝申し上げます。

ジャグラよ永遠に 私たちの未来が煌めく恒星のごとく  
燦然と輝き続けること 確信いたします。

# 『AI時代のコンパクトDX』で売上・利益を伸ばそう！ page2026 会場で見つけた そのヒント

寄稿：ライター・レイター 山下 潤一郎

2026年2月18日～20日の3日間、印刷メディアビジネスの総合イベント page2026 がサンシャインシティコンベンションセンター（東京・池袋）で開催された。来場者数はコロナ禍以降毎年伸びていて、今回も27,478名（3日間合計）と記録を更新した（グラフ1）。

今回のpageで筆者が注目したのは、以下3つのトピックであった：

- \*最新の自動化・省力化・DXソリューション
- \*デジタル印刷機の最新動向
- \*AI時代の付加価値の高い印刷物

本稿では、これら注目トピックをご紹介します。会場で見つけたジャグラコンパクトDXそして『AI時代のコンパクトDX』をさらに進めるためのヒントもお伝えする。

## 最新の自動化・省力化・DXソリューション

中小企業庁によれば、デジタル化は「いままでの業務を効率的にすること」、DXは「新しいビジネスの仕組みを構築して競争力を高めること」にそれぞれ主眼が置かれている。

page2026の特徴のひとつに、中小印刷会社の自動化・省力化・DXを促進する、AIを活用した様々な印刷機材や印刷会社向けサービスが提案されていたことが挙げられる。それらが対象とする分野も広がっていて、筆者が会場

で取材したものだけでも、プリプレスを中心に営業・マーケティング、工務、製造、検査など様々なものがあった。

例えば、富士フィルム「Revorla Cloud Production ジョブビルダー」。これは、蓄積してきた過去の実績データを学習したAIが、営業や生産管理者が入力する代わりに製造仕様などを自動生成するソフトウェアである。

リンクキューブ（石川県野々市市）は、折込チラシなどで使われる商品小組をAIで自動組版するソフトウェアを展示。このAIは導入企業がそれまでに制作したデザインデータを学習するため、自社の知見を反映したものを効率的に制作できるようになる。また、店頭POPやバナー広告などへの応用も考えられる（写真1）。

日本電子計算（東京都千代田区）は、ノーコードで独自のAIエージェントを構築できる「つなぎAI（読み方：つなぎあい）」を紹介した。AIエージェントも自動化・省力化・DXに大きく貢献することから、中小印刷会社でも使いやすいAIエージェントが今後増えることが期待される。

会場では、ロボットを活用した様々な自動化・省力化ソリューションのデモも行われていた。ホリゾンの「ロボット投入無線綴じシステム」は、無線綴じ機 ICE BINDER BQ-300 で無線綴じ加工された冊子を、三方断裁機 ICE TRIMMER HT-300 で仕上げ断裁するというもの。このシステムでは、協働ロボットは「無線綴じ機への本身供給」「綴じ加工後の断裁機への受け渡し」という2役を1台で果たしていた。

国内最大級のオンデマンド製作会社 シンクイノベーション（愛知県名古屋市）は、缶バッジ自動機やOPP 梱包機など、グッズ製造の自動化・省力化を大きく進める機材を提案していた。これらは、同社が自社業務を自動化・省力化するために開発した機材である。自社ノウハウを外販する取り組みも、DXのヒントになる。

印刷革新会は、DAM（デジタルアセットマネジメント）・MA（マーケティングオートメーション）・MIS・自動組版システム・デジタル印刷機・後加工機などを連携させた仕組みの紹介と運用のデモを行った。データ管理も含めて業務を囲い込むこの仕組みは、価格競争からの脱却を目的としている。あわせて、各工程の作業実績をMISに戻すことで、単品損益を把握できることも紹介された（写真2）。

なお、印刷革新会は印刷会社3社（クイックス、佐川印刷、正文舎）とメーカー5社（リコー、ホリゾン、JSPIRITS、コニカミノルタ、SCREEN GA）が協力して設立した組織で、（システムや設備の革新ではなく）人の意識改革を重視した取り組みを行うことを目的としている。

## デジタル印刷機の最新動向

page会場では、富士フィルム Revoria Press PC2120（6色機、印刷速度 A4 120 ページ/分、昨年12月発売）、コニカミノルタ AccurioPress C5080（4色機、印刷速

度 A4 ヨコ 81 枚/分、今年1月発売）など、最新フルカラートナー機の展示・デモも行われた。

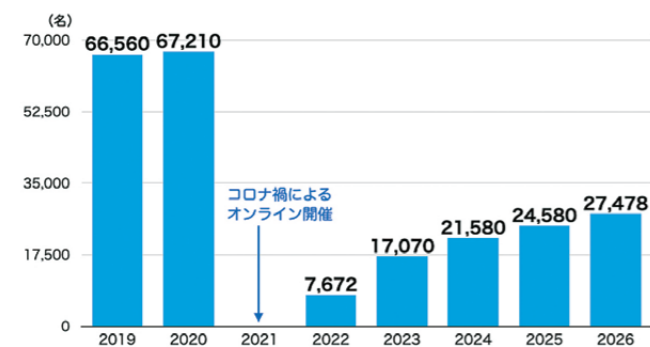
これら2つの新機種には、「前モデルと印刷速度が同じ」「運用の自動化・効率化を強くアピール」といった共通点がある。トナー機の競合ポイントは、「印刷速度」から「運用の自動化・効率化」にシフトしているようだ（写真3）。

ただ、これら2機種「運用の自動化・効率化」実現方法には違いがある。富士フィルム Revoria Press PC2120は、最適用紙設定・画質設定を提案する独自AI技術で実現している一方、コニカミノルタ AccurioPress C5080は、センサーを活用して熟練オペレーターでも判断できない用紙特性や機器環境に応じた設定を自動化・効率化している。自動化・効率化実現方法の開発にもコストがかかり、そのコストは価格にも反映されることから、今後はこの部分にも注目していきたい。

国際印刷機材展 drupa2024 で大きな話題となったフルカラー枚葉インクジェット機は、page会場でも存在感を高めていた。枚葉インクジェット機が注目される理由のひとつに「高い印刷速度」がある。例えば、B3/A3サイズ枚葉水性インクジェット機 キヤノン varioPRINT iX3200（4色機）の印刷速度は320枚/分（A4サイズ・両面）である。

キヤノンブースでは、varioPRINT iX3200 がグループ（東京都目黒区）の印刷生産・研究開発拠点「goof.CAMPUS」（神奈川県横浜市）に導入されたこと、ホリゾンのショー

## page 来場者数推移



JAGAT資料よりライター・レイター作成

グラフ1. page 来場者数推移



写真1. リンクキューブ AI自動組版ソフト



写真2. 印刷革新会ブースでのデモの様子



写真3. 富士フィルム Revoria Press PC2120

ルーム Horizon Innovation Park (滋賀県高島市) に今春導入されることが紹介されていた (写真4)。

理想科学工業ブースでは、A3 サイズ枚葉インクジェット機 VALEZUS T2200 (330 枚 / 分) ・ ORPHIS GL9730 (165 枚 / 分) の実機デモが行われた (ともに 5 色機)。これらは油性インク機で、「インク乾燥の熱源を必要としないため環境負荷を低く抑えられる」という特徴がある。

リコーと大塚商会は、IGAS2022 で世界初出展された商業印刷市場向け B2 枚葉水性インクジェット機 Pro Z75 (4 色機、4,500 枚 / 時) の動画やサンプルを展示。page 期間中に開催された KOMORI 新春内覧会 2026 (2 月 19 日・20 日、小森コーポレーション つくばプラント) では、2 月 1 日発売の B2 枚葉 UV インクジェット機 J-throne 29 のデモも行われた。

デジタル印刷機のバリエーションが増えたことで、中小印刷会社が DX を進める上で重要な要素である「自社に合った生産性の高い / 高い付加価値を実現できる仕組み」に適切な機種を選びやすくなっている。

## AI 時代の付加価値の高い印刷物

AI 時代には、(デジタルメディアにはない) 質感や存在感を持ち、実際に触れることができる印刷物の価値は、これまで以上に高まることが見込まれる。page 会場でも、たくさんの「AI 時代の付加価値の高い印刷物」の候補が見つかった。

例えば、「Web に誘導できる印刷物」。AI においてデータは非常に重要な役割を果たす。データの量や質は、AI の性能や精度などに大きく影響するからである。そのデータを取得するのに役立つ印刷物は、AI 時代に高い価値を持つと考えられる。



写真5. ジャグラメニュー@ジャグラ DX BAR



写真4. キヤノン varioPRINT iX3200 導入事例紹介

会場では、奥村印刷 (東京都北区) が開発した Smart Meishi (スマート名刺)、研美社 (大阪府大阪市) のデジタル名刺「nearby (ニアバイ) カード」、アピックス社 (大阪府大阪市) のステッカータイプ NFC タグなど、NFC (Near Field Communication、近距離無線通信) を使って Web に誘導する印刷物やサービスが様々なブースで提案されていた。

「コミュニケーションを膨らませる印刷物」も、AI 時代の高付加価値印刷物のひとつになるであろう。日本グラフィックサービス工業会 (JaGra) ブース DX BAR には、ジャグラが取り組む活動をフランス料理のコースメニュー仕立てで紹介する「ジャグラメニュー」が置かれていた。レストランのメニュー形式だからなのか、目を通して見るとオススメを聞いたり、分からないこと・疑問に思ったことを相談したくなったりする (写真5)。

多田紙工 (埼玉県さいたま市) は、様々な色の紙製ファイル「ペーパーファイル」にマンガをモノクロ印刷したものを展示。今回は同社の商材・サービスをj紹介するマンガだったが、保険の提案書や事業・サービスの企画書、商品カタログなど、中に入れる書類に合ったマンガを印刷した「マンガペーパーファイル」を使うと、資料内容をご説明する前から興味を持っていただけ話がスムーズに進みそうである (写真6)。

また、トレーディングカード・ステッカー・アクリルグッ



写真6. 多田紙工 マンガペーパーファイル

ズといった「個人の『好き!』に刺さる印刷物」や、大入 (京都府京都市) ブースに展示された「伝統 / 文化 / 職人技に触れられる印刷物」、ジャグラコンパス 避難所マップのような「『ネットにつながらない!』ときに役立つ印刷物」なども、AI 時代に付加価値が高まる印刷物の有力な候補だと考えられる。

## まとめ: 『AI 時代のコンパクト DX』で売上・利益を伸ばそう!

筆者は、中小印刷会社が DX をさらに進めるのに、AI は強力な武器になると考える。確かに、AI はこれまでの「当たり前」を破壊することもある。その一方で、人手不足や物価高といった厳しい状況の中でも、印刷物の企画・制作・製造の生産性を高めるのに大いに役立つ。

また、イベントの企画・集客・開催、地元ステークホルダーとの関係進化、新規顧客や販路の開拓など、「地域活性化」や「業態進化」に不可欠な活動の負担軽減 / 生産性向上にも、AI は大きく貢献することが期待される。

デジタル化がこれまで以上に進む AI 時代において、印刷物はどんどん特別な・貴重な・贅沢なものになっていく

## ジャグラブースレポート

会員拡大委員会 笹井 靖夫 委員

今年も、東京・池袋サンシャインシティで開催された「Page2026」において、会員拡大委員会の一員としてジャグラブースの運営に携わりました。

昨年から page におけるジャグラブースは、会員拡大を目的としています。会員拡大委員会の高橋さんのアイデアにより、単に会の紹介パネルを並べるだけではなく、来場者の皆さんに「これは何だろう?」と興味を持っていただけるブースづくりを目指してきました。昨年はバーの雰囲気を出し、コーヒーを提供しながらジャグラの「コンパクト DX」を紹介して会員勧誘を行いました。

今年は「何でもやれるジャグラだからこそ、さらに面白いことを」というコンセプトのもと、ついにブースでお酒の提供まで実施しました。提供したのは、元バーテンダーでもある高橋さんのオリジナルカクテルに加え、東京・港支部の(株)河内屋様のクラフト生ビール (昨年の東京大会のお土産でもあります)、そしてウクライナ支援につながるリキュールなどです。バー

であろう。AI 時代の付加価値の高い印刷物を企画・製造・活用する知見は、中小印刷会社の DX、特に競争力向上において重要な役割を果たす。

page2026 会場では、たくさんの『AI 時代のコンパクト DX』のヒントが見つかった。例えば、「Web に誘導できる印刷物」「コミュニケーションを膨らませる印刷物」「『ネットにつながらない!』ときに役立つ印刷物」などの「AI 時代の付加価値の高い印刷物」を提供・活用することで、地域活性化の取り組みに貢献できる可能性。

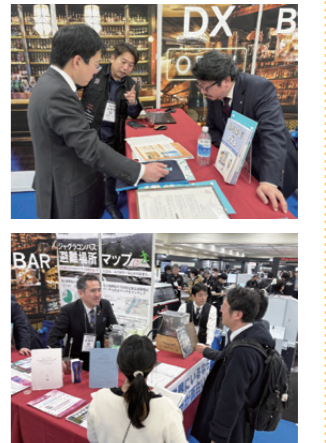
「文学フリマ」「紙博」など、「個人の『好き!』に刺さる印刷物」が売買されるイベントの地元での開催や、地元の「文化 / 伝統 / 職人技に触れられる印刷物」やイベントなどを通じて「地域活性化」「業態進化」を実現するヒントも伺えた。

ぜひ、page 会場に展示された最新の印刷機材やサービス、印刷物の価値を高めるヒントなどを活用して、仕組みを AI 時代にふさわしいものに進化させながら、AI 時代の付加価値の高い印刷物を企画・製造・活用しましょう! そして、『AI 時代のコンパクト DX』に取り組んで、どんどん売上・利益を伸ばしましょう!!

のメニュー表にはジャグラの取り組みや活動内容も記載し、それをきっかけに説明を行う仕組みです。

ビジネス色が強い会場の中で、当ブースはオアシスのような存在として、ジャグラ会員に限らず他団体の方や一般来場者の皆さんにも興味を持って立ち寄っていただきました。その結果、期間中に入会につながる可能性が高い会社が 3 社、また集まった名刺が 70 枚強あり、会員拡大という成果にもつながりました。

今回の page での取り組みを通じ、会員および会員候補の方々との接触回数を増やすことが大切だと改めて実感しています。また、ブースにお越しくくださった皆さんからの「ジャグラって面白いですね!」という言葉は、変化を恐れず挑戦する今のジャグラの姿を最もよく表していると感じました。



# ジャグラ経営実態調査アンケート 2025

## 若手・中核人材の確保、 育成の課題浮き彫りに 半数以上の会員が創注活動を推進

生産性向上委員会（宮崎真委員長）は昨年8月から今年1月末にかけて、ジャグラ会員を対象とした経営実態調査アンケートを実施しました。本アンケートは、経営者のリアルな声を集めることで、新年度に向けてより実効性のある支援策の立案や、他社の成功事例の比較分析、新たなビジネスモデルの構築につなげることを目的としています。ご協力いただきました会員企業の皆様に改めて感謝申し上げます。回答企業数は158社（対象社数702社、回答率22.5%）です。

### 事業継続と経営実態

事業継続の意向では、回答企業の92.4%が事業を「継続」と回答しますが、7.6%は「5年以内に廃業予定」としています。

後継者の有無に関しては、32.0%の企業が「後継者がいる」一方、68.0%は「いない」と回答しています。

従業員規模で見ると、「1～5人」が34.0%と最も多く、小規模な企業が中心となっていることが改めて確認できました。

10年前と経営状況を比較すると、22.0%が「時間に余裕はなく売上（利益）も減った」と回答しており、「忙しくても儲けが少ない」という厳しい状況がうかがえます。

### 市場と受注の状況

主な取引マーケットとしては「民間」が66.7%で最も高く、さらに「官公庁・自治体等公共機関」が12.0%。受注形態は「直接受注」が139社と圧倒的に多く、脱官公需、直接受注への転換が進んでいます。

印刷機の保有状況は「オフセット印刷機とPOD/デジタル印刷機の両方」を保有する企業が60.0%を占め、次

いでPODのみが26.0%とPODが生産機の主流になっています。

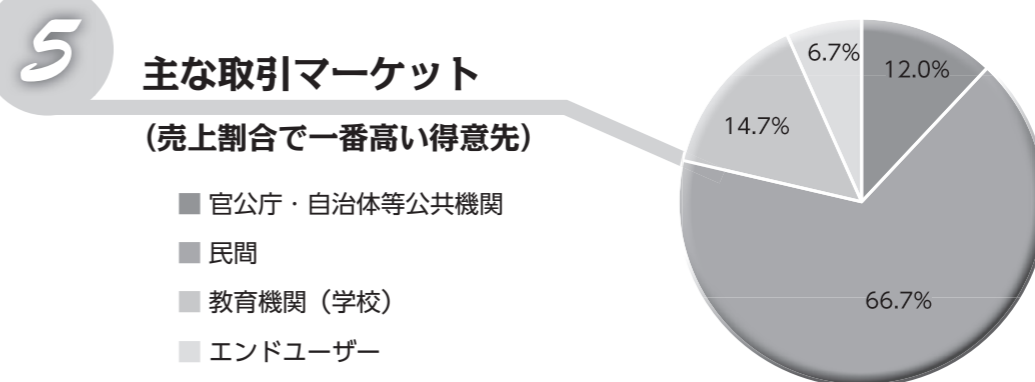
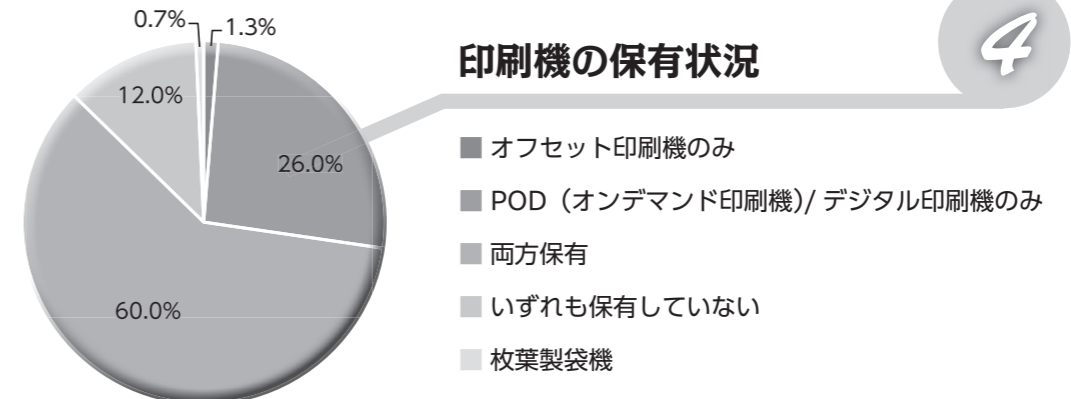
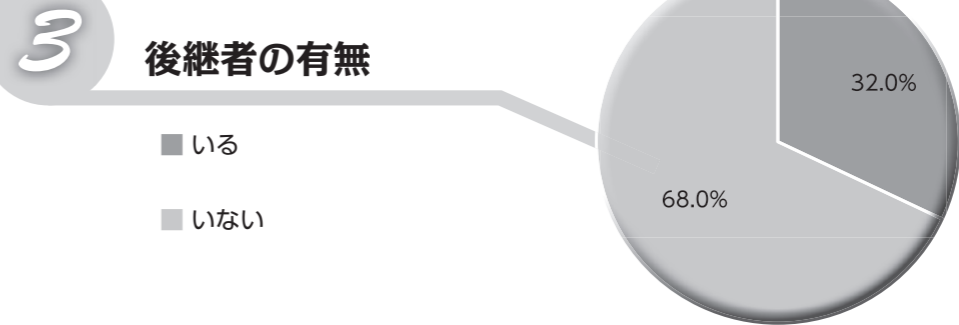
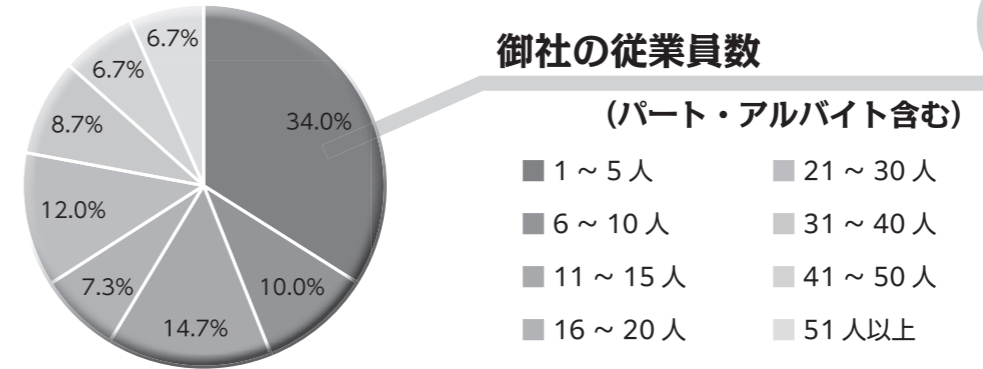
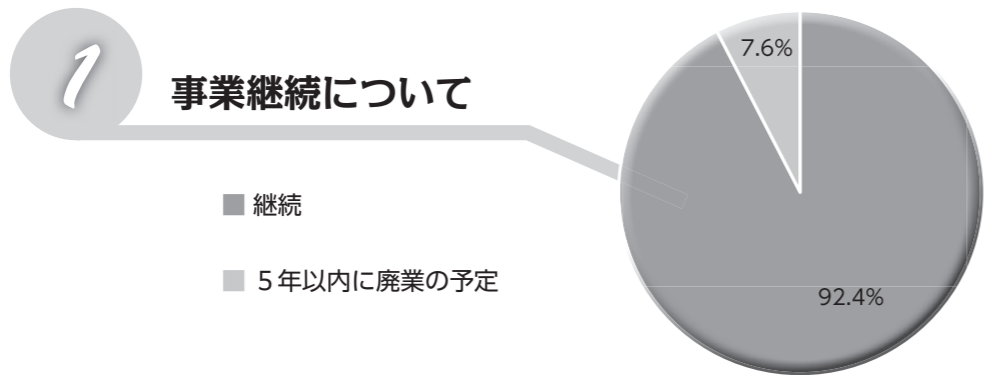
### 取り組みと課題

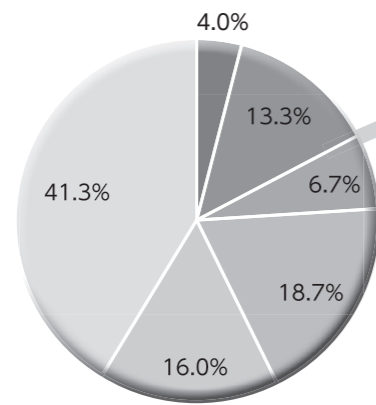
新規事業・サービスに関しては、56.0%の企業が、WEB制作、デザイン、EC、地域連携などの新規事業に「取り組んでいる」と回答。創注（需要創出）活動も、積極的に行っている、または一部取り組んでいる企業を合わせると半数以上にのぼりました。

経営課題としては、最も多いのが「人材確保・育成」（91社）で、次いで「顧客の減少・業態進化」（75社）、「価格競争」（68社）、「コストアップ」（65社）と続きます。

事業継続上の注視事項についても、「人材（若手、中核人材）」（35.3%）と「利益率向上」（31.3%）が上位に挙げられています。

まとめると、多くの会員企業が厳しい経営環境の中で直接受注や新規事業、創注活動を通じて生き残りを図っていますが、特に若手や中核人材の確保・育成が深刻な課題として浮き彫りになっています。

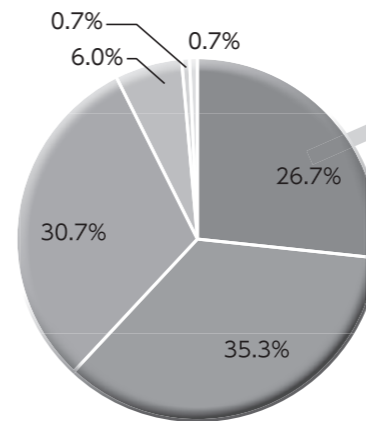




年間売上規模 (直近期)

- 1,000万円未満
- 1,000万～3,000万円未満
- 3,000万～5,000万円未満
- 5,000万～1億円未満
- 1億円以上2億未満
- 2億円以上

6



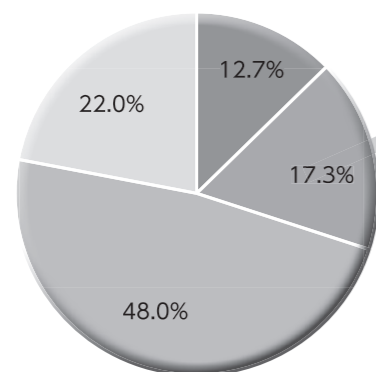
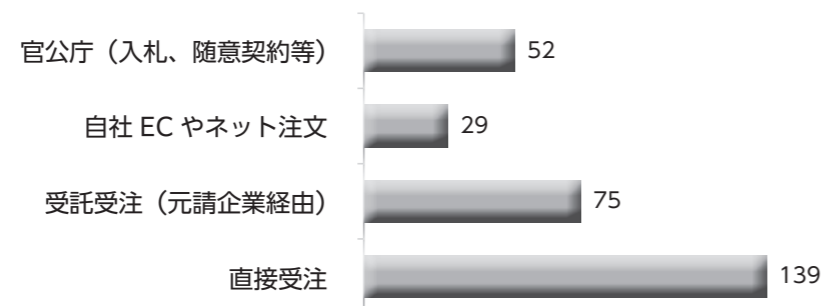
創注への取り組み状況

- 積極的に創注活動を行っている
- 一部取り組んでいる (例: 提案型営業、異業種連携、地域課題解決など)
- 関心はあるが実践できていない
- 関心なし
- 回答無し
- 何をやっていいかわからず...

10

7

主な受注形態 (複数選択可)



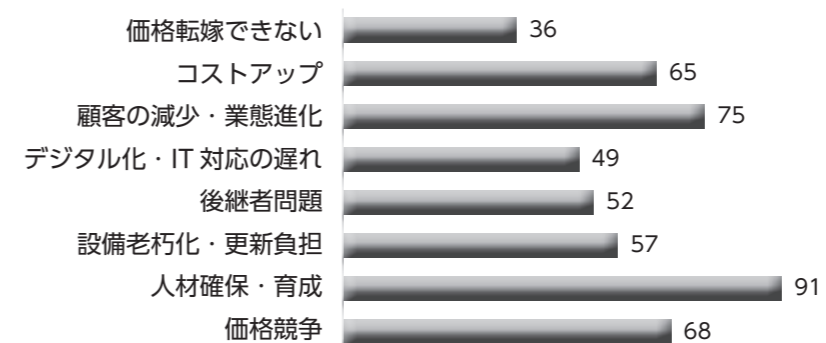
10年前と比べて

- 時間に余裕が出来て売上 (利益) も伸びた
- 時間に余裕はないが売上 (利益) が伸びた
- 時間に余裕が出来たが売上 (利益) は減った
- 時間に余裕はなく売上 (利益) も減った

8

11

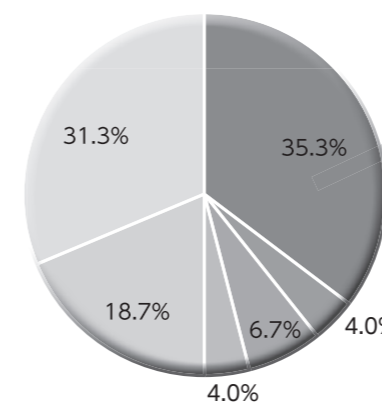
課題と感じていること (複数選択可)



12

事業を継続する上で

注視したいことは何か



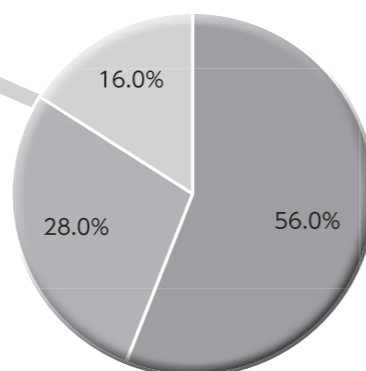
- 人材 (若手、中核人材)
- 人材 (高齢者、女性、障がい者、外国人等)
- 設備投資 (印刷工程)
- 設備投資 (印刷以外)
- 事業転換
- 利益率向上

9

新規事業・サービスへの

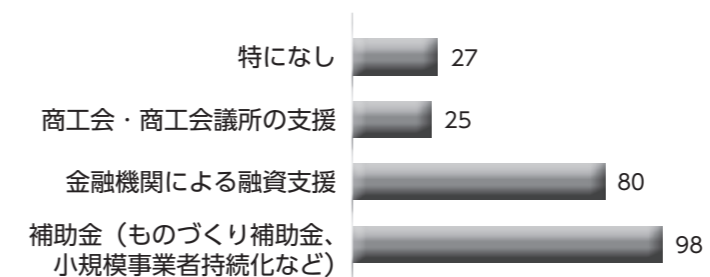
取り組み状況

- 取り組んでいる (例: WEB制作、デザイン、EC、地域連携など)
- 検討中
- 特に予定なし



13

外部支援制度の利用経験 (複数選択可)



# 2026年紙・板紙内需見通し報告

## 統計史上初の2,000万トン割れ予測も、 一部で「紙の機能」再評価の兆し

日本製紙連合会は2026年1月20日、「2026年紙・板紙内需見通し報告」を発表しました。本稿では同報告書に基づき、商業印刷・出版・パッケージング分野における2026年の需要予測と、市場環境の変化について報告します。

### I. 全体概況：5年連続のマイナス予測

2026年の紙・板紙の内需計は、前年比2.7%減の1,999万トンと予測されました。これは5年連続のマイナス予測であり、1988年からの現行統計において初めて2,000万トンを下回る見通しとなります。ピーク時（2000年：3,197万トン）と比較すると約6割強の水準まで縮小しており、人口減少やデジタル化の進展といった構造的要因に加え、物価上昇に伴う需要家のコスト削減意識の高まりが、紙需要全体を押し下げる要因として挙げられています。

### II. 品種別動向：主要3分野の予測

印刷産業および関連加工業に深く関わる「グラフィック用紙」「白板紙」「包装用紙」の動向は以下の通りです。

#### 1. グラフィック用紙（商業・出版・情報用紙）

予測：前年比6.3%減

新聞用紙および印刷・情報用紙を含むグラフィック用紙全体では、デジタル化の影響を最も強く受け、20年連続のマイナスとなる見込みです。内訳としては、新聞用紙が9.5%減と大きく落ち込む見通しである一方、商業印刷に用いられる以下の主要品種は一律6.0%減と予測されています。

#### ○塗工印刷用紙（チラシ・カタログなど）

需要家のコスト削減姿勢が一段と強まっており、カタログやチラシ、パンフレット等の発行回数や部数の減少、判型の縮小、用紙のグレードダウン（薄物化）が継続すると見込まれています。

#### ○非塗工印刷用紙（書籍・マニュアルなど）

出版業界の不振により雑誌などが減少傾向にある一方、明るい材料として「学習参考書」や「児童書」については堅調な動きが見られると報告されています。

#### ○情報用紙（フォーム・PPC用紙）

企業や官公庁におけるデジタル化推進、リモートワークの定着により、コピー用紙（PPC用紙）の使用量減少が続きます。また、フォーム用紙についてもデジタル化による需要減の影響が大きいものの、大手企業へのサイバー攻撃をきっかけに紙の信頼性を見直す動きも出てきていると指摘されています。

#### 2. 白板紙（パッケージ・紙器）

予測：前年比2.0%減

菓子箱や商品パッケージに使用される白板紙は、物価高による消費者の買い控えや、メーカー側の過剰包装見直し（薄物化など）により、全体としては前年を下回る予測です。一方で、「トレーディングカード向け」の需要は、前年に引き続き堅調に推移すると見込まれています。

#### 3. 包装用紙（封筒・紙袋）

予測：前年比2.0%減

封筒需要の減少や、マイバッグ定着・紙袋有料化による軽包装需要の減少が影響します。ただし、Eコマース（通販）市場においては、「段ボールケースから宅配袋への切り替え」が進むことが期待されています。

### 2026年品種別内需予測一覧（関連分野）

	2026年予測（前年比）	傾向
塗工印刷用紙	▲6.0%	チラシ減も、デジタルとの併用進む
非塗工印刷用紙	▲6.0%	出版不振も、「学習参考書」は堅調
情報用紙	▲6.0%	デジタル化続くも、BCPで再評価
白板紙	▲2.0%	菓子箱減、「トレカ」は引き続き堅調
包装用紙	▲2.0%	通販での「宅配袋」シフトに期待

※数値出典：日本製紙連合会「2026年紙・板紙内需見通し報告」

### III. 市場環境の変化：「紙の機能」を見直す3つの動き

全体的な数字が減少傾向を示す中で、報告書では「行き過ぎたデジタル化」への揺り戻しや、紙媒体ならではの機能的価値が見直されている事例についても言及されています。

#### 1. デジタルと紙の併用効果（紙チラシ）

大手通販企業などが実施した調査において、「紙のチラシが消費者の購買行動に強い影響を持っている」という事実が再確認されています。これを受け、紙媒体を単に削減するのではなく、テレビやデジタル広告と紙チラシを併用することで相乗効果を狙う動きが出てきています。

#### 2. リスク管理としての「紙の信頼性」（BCP）

近年、大手企業へのサイバー攻撃やシステム障害が多発しています。これを背景に、情報の確実な保存・伝達手段として「紙の信頼性」を見直す動きが出てきています。デジタルデータのリスクに対するヘッジとして、紙の物理的な記録性が評価されています。

#### 3. 教育現場における「紙」への回帰

教育分野では、デジタル教科書の導入が進む一方で、学習効果の観点から紙を優先する動きが世界的に見られます。北欧（スウェーデンなど）では、国際学力調査での読解力低下を受け、「長文を読み、読解力を高めるため」として紙の教科書を優先する方針へ転換をしました。また韓国では、AIデジタル教科書を「教科書」から「教育資料」へと位置付けを変更（格下げ）する動きがあり、早急な導入に対する現場の戸惑いが報告されています。

### 4. 2026年の主要イベントと紙需要

2026年は2月にミラノ・コルティナ冬季オリンピック、6～7月にFIFAワールドカップなどの大型イベントが開催されます。例年、こうしたイベントは号外や関連印刷物の特需として期待されますが、今回の報告書では、新聞用紙、非塗工印刷用紙、塗工印刷用紙のいずれにおいても「内需の押し上げ効果は限定的」と予測されています。イベント開催そのものによる需要増よりも、デジタル化やコスト削減といった構造的な減少要因の方が強く作用する見通しです。

### IV. まとめ

2026年の紙・板紙内需見通しは、総量として1,999万トンと、2,000万トン割れが予測される厳しい内容となりました。しかし、品目別に見れば「学習参考書」や「トレーディングカード」のような堅調な分野が存在します。また、機能面では「集客効果（訴求力）」「リスク管理（保存性）」「学習効果（理解度）」といった観点で、紙媒体の価値が再評価される動きも具体的に報告されています。市場全体が縮小する中で、こうした「紙ならではの機能的価値」が改めて注目されています。

出典：一般社団法人日本製紙連合会

「2026年紙・板紙内需見通し報告」

# 人財育成への支援を通じて



会長

浅野 健

(株)金羊社  
取締役会長



副会長

作道 孝行

作道印刷(株)  
代表取締役



副会長

岡本 泰

(株)クイックス  
代表取締役社長

業界の「未来」を創る。

日本プリンティングアカデミー後援会

## 会員募集中 50<sup>会員</sup>突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。

印刷業界の「未来」を創る = 人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

### 年会費

法人会員 30,000 円

個人会員 10,000 円

### 入会特典

#### JPA 主催セミナーの割引

JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。  
※詳細についてはお問い合わせください。

### 入会方法

右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。



お問い合わせ

電話

03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ~ 17:30

メール

koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



### 日本プリンティングアカデミーとは？

1978 年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT 教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約 1,000 名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT 教育機関として年間 200 名を超える社員の研修も行っています。

## 印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

### 専門学校

「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。

- プリント・コンテンツ学科 (1 年制)
- メディア・コンテンツ学科 (2 年制)

### 企業研修

実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。

- ベーシック研修
- カスタマイズ研修
- 業務別講座



## 入学者 & 受講企業募集中



学校法人 日本プリンティングアカデミー

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-13-2 平日 9 時 00 分 ~ 17 時 30 分

電話

03-3811-2734

FAX

03-3811-3557

メール

info@jpa.ac.jp

印刷 専門学校

| Q



# FUJIFILM

Value from Innovation



Revoria Press PC2120

## Revoria Press™

### 信頼性と創造力で、 ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、プロダクション・プリンティングの領域で積み重ねた信頼性とこれまでにない付加価値を導く創造力で、ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。



下から Revoria Press EC2100S / EC2100, Revoria Press SC285S / SC285, Revoria Press E1 series

富士フイルム ビジネス インベーション株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)  
http://fujifilm.com/ib

富士フイルム グラフィックソリューションズ株式会社  
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0300 (代表)  
https://www.fujifilm.com/figs/ja

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。Revoria Press、Revoria Press ロゴは富士フイルムビジネスソリューション株式会社の登録商標または商標です。

# 印刷業の未来を 共に創る



プリントコンパス 検索

## Horizon Smart Factory 2026 in HIP

# 無人化との共存

FIRST TOUCH

[For Japan Days] 国内プログラム期間

**28** WED - **30** FRI  
**Oct. 2026**  
10:00 - 17:00

[For International Days] 海外プログラム期間

**4** WED - **6** FRI  
**Nov. 2026**

株式会社ホリゾン 本社びわこ工場内 Horizon Innovation Park  
(滋賀県高島市新旭町旭1600)

2026年、ホリゾンは「無人化との共存」という新たな領域に挑みます。

本イベントでは、印刷・後加工・梱包・運搬の全工程で実現された無人システムをさらにブラッシュアップ。

AGV、ロボット、さらにはドローンなど自律型技術を駆使し、人の介入を最小限にしつつ、実際の印刷・製本現場での実運用を想定したフローを構築。

「無人化」に到達した次の挑戦。

新たな未来を切り拓くファクトリーオートメーションの姿を Horizon Innovation Park でご体感ください。

主催：ホリゾン・ジャパン株式会社 / ホリゾン・インターナショナル株式会社 / 株式会社ホリゾン

協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社 / ダックエン지니어リング株式会社 / 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社  
ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 / 株式会社 JSPIRITS / コニカミノルタジャパン株式会社 / リコージャパン株式会社  
理想科学工業株式会社 / リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社 / 株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ

協力：株式会社バリューマシーンインターナショナル



最新情報はこちら

ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社	〒101-0031	東京都千代田区東神田2-4-5	東神田堀商ビル5F	TEL.03-3863-5361(代)	FAX.03-3863-5360
東京支社	〒132-8562	東京都江戸川区松江5丁目10-9		TEL.03-3652-7631(代)	FAX.03-3652-8083
京都支社	〒601-8206	京都府京都市南区久世大藪町510		TEL.075-933-3060(代)	FAX.075-933-4025
福岡営業所	〒813-0034	福岡県福岡市東区多の津4-12-17		TEL.092-626-8111(代)	FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31		TEL.022-782-2821(代)	FAX.022-782-3068

# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



# SHOWA

## ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

ユーザー会で密に情報交換

**SHOWA会**

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic  
<http://www.lithmatic.net>

# 守 字 在 由

文字とつながる。  
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8**    24書体まで利用可能 **Select24**    上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン  
**Webフォント / Webフォント Lite / Webフォント Pro**



[morisawafonts.com](http://morisawafonts.com)



## 雑学コラム④⑩ 野口聡の

### 47 都道府県のお話 (その 38 : 島根県)

ジャグラー会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラー東京・東  
ジャグ文京支部のアクティブ・野口です。

さて、今回取り上げるのは島根県です。私にとってこの地は  
今までの人生において2つある未踏の県の中の1つ (あとは和  
歌山) であり、是非とも行ってみたい場所なのです。ちょっと  
脇道に逸れますがもう 30 年近く前、かつて島根県がスポン  
サーとして FM ラジオ (私の場合は東京 FM) で「島根県の問題」  
というキャンペーン CM を行ってた事をご存知の方はいら  
っしゃるでしょうか。いらっしゃったらそれは相当のリス  
ナーですね (笑) そんな島根の事を私の視点でつらつらと書いて  
いこうと思います。少しの間お付き合い頂けると。

1 : かつて島根県には日本一の〇〇を持つ駅があった。

以前ほどのペースでは無いにしても一応趣味としてクイズを  
嗜んでいる私ですが、未だに職業病に近い感じで「日本一の〜」  
とかいう話には敏感に反応します (笑) で、テーマのことで  
すが、かつて島根県には「日本一の長い名前の付いた駅」が  
ありました。その名前「ルイス・C・ティファニー庭園美術館前駅」  
といい、その当時は結構ニュースになりましたので覚えてらっ

しゃる方も居るかもしれません。この駅元々は「古江」という  
名前だったそうなので、この名前に変更になった時は地元の方  
もびっくりでしょうな。そして鉄道に詳しい方ならこの駅が日  
本一の座から落ちた理由の話もご存知でしょう。まあ、よくあ  
る話なのですがこの美術館が閉館してしまったので名前が無く  
なっちゃったのですがね。

2 : とある7つの〇〇の話。

島根県の県都にして最大の街となっている松江市、そこに面  
している湖が宍道湖と中海です。海水と真水が混じる汽水湖の  
宍道湖には「宍道七珍」と呼ばれる名物がいくつかあります。  
その中でも特に著名なのはスズキでしょうか。日本料理で出さ  
れることのある「奉書焼き」、時の松江藩七代藩主松平治郷 (不  
昧公) が漁師のご飯を見て私もと所望した際に、魚に灰が着く  
のを失礼として奉書に包んで焼いたものを献上した結果生まれ  
たとのこと。因みにこの殿様、藩内改革をして松江藩の財政  
を立て直した名君であると同時に不昧 (ふまい) 流という茶  
道一派を確立し、それに伴った結果として、松江に茶菓子の  
文化をもたらした事でも知られるほどの茶人でもあり、この方  
がそれを好んだことから、和食でご飯に汁をかけたものを「不  
昧めし」という程の食の人でもあったのだそうです。

食事の時の話のタネにどうぞ。今回のお話はここまでです。  
お付き合いありがとうございます。

では今月の問題です。

問題 : 日本最多の6社もの鉄道会社が入り入れ、新宿・渋谷・  
池袋に次いで東京都以外に存在する中では日本で一番利  
用者数が多い駅はどこでしょう?

(正解は 29 ページ)

Kenbisha を“見て・触って・試せる”イベントスペース

1秒で溢れ出る情報へ

スマホへカードタッチ

NFC×カード×人×交流=∞

The CORNER  
Produced by Kenbisha

ジャグリストの皆さん!是非お気軽に  
東京八丁堀へお立ち寄りください!

# 最低賃金引き上げに伴う支援・後押し

## ～過去最大の引き上げ幅に対応する 中小企業支援パッケージについて～

令和7年度（2025年度）の地域別最低賃金は、全国加重平均で1,121円（前年度比+66円）となり、全都道府県で時給1,000円を超える過去最大の引き上げ幅となりました。人手不足や物価高騰が続く中、賃上げは避けられない経営課題となっていますが、中小企業・小規模事業者にとっては大きな負担となります。そこで今回は、厚生労働省および経済産業省（中小企業庁）が連携して強化している、賃上げ原資の確保と生産性向上のための支援策について紹介します。

### 1. 「業務改善助成金」の対象拡充と手続き簡素化

事業場内最低賃金を30円以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資等を行った場合に費用の一部を助成する「業務改善助成金」が、令和7年9月5日から拡充されました。

#### ・対象事業場の拡大

従来は「事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が50円以内」の事業場が対象でしたが、これに加え、「事業場内最低賃金が、改定後の地域別最低賃金未満」の事業場も対象となりました。これにより、最低賃金改定の影響を直接受ける層への支援が手厚くなっています。

#### ・事前の計画提出を省略可能に

通常は賃金引き上げ「前」に計画を提出する必要がありますが、特例的に、地域別最低賃金の発効日（改定日）の前日までに賃金引き上げを実施していれば、計画の事前提出が不要となりました。これにより、迅速な賃上げ対応が可能となります。

#### ・助成内容

助成上限額：最大600万円（賃金引き上げ額や人数、設備投資額による）。

#### ・活用例

POSレジの導入、自動釣銭機の導入、リフト付き車両の導入、経営コンサルティングなど。

### 2. 非正規雇用の処遇改善 「キャリアアップ助成金」

パートタイム労働者などの非正規雇用労働者の基本給を増額改定した場合に助成される「キャリアアップ助成金（賃

金規定等改定コース）」も、最低賃金改定に伴う賃上げに対応しています。

#### ・要件

非正規雇用労働者の基本給（賃金規定等）を3%以上増額改定すること。

#### ・助成額（中小企業）

対象労働者1人あたり最大7万円（賃上げ率による）。

#### ・特徴

最低賃金の改定に伴って賃金規定等を改定した場合も、改定後の金額が最低賃金を上回っていれば対象となります。

### 3. 省力化・生産性向上への投資支援（補助金）

経済産業省・中小企業庁は、賃上げに取り組む企業に対して、設備投資関連の補助金で優遇措置を設けています。中小企業省力化投資補助金 清掃ロボットや配膳ロボット、券売機など、カタログから選ぶだけで簡易に申請できる補助金です。

#### ・賃上げ特例

最低賃金の引き上げに取り組む事業者に対し、補助上限額が大幅に引き上げられ（最大1億円 ※従業員規模による）、補助率も1/2から2/3へ優遇されます。

#### ・ものづくり補助金・IT導入補助金

革新的な製品開発やITツール導入を支援するこれらの補助金でも、給与支給総額や最低賃金の引き上げを行う事業者に対し、補助率の引き上げ（1/2から2/3等）や審査での加点措置が実施されます。

### 4. 労働環境の改善を後押しする 「働き方改革推進支援助成金」

労働時間の削減や年次有給休暇の取得促進に取り組む事業主を支援する助成金ですが、賃上げを行うことで助成額が大幅に加算されます。

#### ・賃上げ加算

時間外労働の削減などの成果目標に加え、指定する労働者の時間当たりの賃金額を3%～7%引き上げた場合、引き上げ人数に応じて、助成上限額に加算が行われます。従業員31人以上の事業所だと、3%～7%引き上げで1人あたり2万円～12万円、上限60万円～360万円の加算、従業員30人以下だと上限は最大で720万円の加算となります。

### 5. 価格転嫁と税制による環境整備

賃上げ原資を確保するためには、労務費の上昇分を適切に取引価格へ転嫁することが不可欠です。

価格転嫁の推進 2026年1月には、下請法が改正された「中小受託取引適正化法（取適法）」が施行される予定であり、価格交渉の義務化などが盛り込まれています。政府は「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を公表し、発注者・受注者双方の行動指針を示しています。

賃上げ促進税制 青色申告を行う中小企業等が、全雇用の給与支給額を前年度比で1.5%以上増加させた場合、

#### 【出典資料】

厚生労働省・中小企業庁 「最低賃金・賃金引き上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援施策紹介マニュアル」（令和8年1月版）  
厚生労働省・中小企業庁 「最低賃金引き上げに伴う支援・後押しを強化しています」（連携パンフレット）  
厚生労働省 「令和7年度業務改善助成金のご案内」（リーフレット）「キャリアアップ助成金のご案内（令和7年度版）」（パンフレット）  
中小企業庁 「中小企業省力化投資補助金」（リーフレット）「サービス等生産性向上IT導入支援事業」（リーフレット）

増加額の最大45%を法人税（または所得税）から控除できます。赤字企業でも、繰越控除により最大5年間メリットを享受できる仕組みがあります。※なお、2026年度（令和8年度）の税制改正により、今後の最大控除率は縮小（見直し）される予定のため、最新の動向にご注意ください。

### 6. まずは相談窓口の活用を

最低賃金の引き上げは経営にとって大きなインパクトを与えますが、これらを「生産性向上」や「価格適正化」の好機と捉え、各種支援策をフル活用することが重要です。自社に最適な支援策が不明な場合は、各都道府県の「働き方改革推進支援センター」や「よろず支援拠点」にて、専門家による無料相談が可能です。また、中小企業庁の特設サイト「ミラサポ plus」では、人件費の試算シミュレーションも提供されています。ぜひご活用ください。



一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

## JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

- ◆ 割安な価格で充実の福利厚生  
（例：30歳男性、1口327円/月）
- ◆ 70歳まで加入可能
- ◆ 死亡以外に事故による入院も保障
- ◆ 医師の診査不要、告知のみで申込



加入・お問い合わせはジャグラ事務局まで

☎ 03-3667-2271

# 東京グラフィックス港支部長 韓国印刷業界視察および交流活動レポート

(2026年2月20日～23日)



印刷会社

皆さま、こんにちは！ 東グラみなと支部のいなみつです。一昨年の台湾、昨年のタイに続き、今年は韓国視察ツアーへ行ってまいりましたので、ご報告させていただきます！

今回の韓国視察は、コニカミノルタプロプリントソリューション코리아（以下KMPPSK）への訪問から始まりました。現地では社長、副社長、マーケティングチーム、社長秘書兼通訳スタッフの皆様にご温かく迎えていただき、終始リラックスした雰囲気の中で意見交換が行われました。

KMPPSKの中（なか）社長からは着任後5年間で売上約70%成長、アキュリオプレス100台以上導入、ハイエンド市場約40%シェアという成果が紹介されました。

同社は印刷事業専門の販売会社として運営しており、複合機中心の販売会社が多い中で印刷事業に特化している点が特徴で、韓国市場は意思決定のスピードが速く、新技術への受容性が非常に高い市場であります。韓国では人間関係を重視する文化が色濃く残っており、エンジニアと顧客の距離が近く、担当機械への責任感や誇りを持つ姿勢は、日本のかつての印刷業界を思い起こさせるものでした。今後はラベル・パッケージ事業を第二の柱として育成し、景気変動に左右されにくい経営体制構築を進めている点も印象的でした。また、人材育成への投資も極めて積極的であり、日本・オーストラリア・米国への研修派遣やサービス競技会参加など、現場力強化を中心とした組織づくりが行われています。

韓国印刷市場は品質要求と価格競争が共存する厳しい市

場であり、分業体制が依然として主流である一方、ウェブトプリンター型企業の台頭など、構造転換期にあるとの分析がされていました。実際にこのディスカッションの3日後にチャンム口という繁華街の明洞近くにある一平方キロくらいの印刷街を視察しました。そこは昭和の日本の印刷業界にタイムスリップしたような光景が広がっていました。フォークリフトや三輪自転車での紙や印刷物の横持ちが至るところで行われておりました。新技術への受容性が高い反面、古い商慣習も一定程度残っており、事業変革している会社と古い商慣習を変えていない会社の二極化がとて鮮明でした。こうした変化の激しい市場背景から特に現場力の強化をしているとのことで、伸びている会社は先手を打ってリスク回避と事業転換を図っている実例がとて印象的で勉強になりました。

また、韓国市場を学んだ事とみなと支部メンバーのビジネス環境における取引慣習や補償問題、設備稼働状況などの話題から、公式会議では得られない業界が直面する現実的でリアルな課題も共有することが出来ました。

そしていよいよ翌日からオプションの市内観光を堪能しました（笑）。

旧王朝の景福宮（キョンボックン）、昌徳宮、南大門市場、明洞、Itaewonのアンティーク家具通り、漢江沿いの観覧公園、ロデオ通り、ロッテタワーなど魅力的で歴史のある建造物や街並みを散策しました。キョンボックンでは守将の交代式を見学して歴史的一幕に触れることができました。有名な明洞、南大門市場では美食、ソウルフードが溢れており、目移りしながら興味津々でお店を探してたどり



景福宮



景福宮（交代式）



昌徳宮



イテウォン



南大門市場



地元の人気焼肉店

着きました。美味しい店ばかりでしたが、個人的にはカニの醤油漬のカンジャンケジャンが美味すぎて衝撃的でした！

そしてメンバー全員が視察を通して終始食べ過ぎましたので、途中適度に運動も取り入れてカロリー消費にもつとめました（笑）。

観光での圧巻はロンドンにあるピョルマダン図書館でそのスケールと、空間建築のすばらしさに感動しました。こうした視察・観光を通して街の活気や店舗の変化速度、若年層の消費スタイルを体感することで、韓国市場のスピード感を実感する機会となりました。

振り返ると食事の場などで今回の視察内容やジャグラー生産性向上&MIS研究合同委員会での韓国市場動向の報告準備、海外拠点とのコミュニケーション課題も共有されましたが、直接対話による関係構築の重要性が強く認識できました。また、非公式な場ではありますが、次期委員会体制や役員人事など、組織運営に関する率直な意見交換、教育技術委員の人選、総務・会員拡大分野の役割分担などが話題となり、正式決定には至らなかったものの、事前合意

形成の重要性が共有されました。

組織運営や人事、支部活動に関する意見交換では、過去の支部長経験者の事例や組織参加が困難となった過去の支部状況などが共有され、従来型の年功的役職構造から、能力重視・柔軟な体制への移行の必要性が議論され、印刷業界団体においても世代交代と変革が求められていることを痛感しました。

何より、雑談や日常的なやり取りを通じて参加者同士の距離が縮まり、海外視察における非公式コミュニケーションの価値を改めて感じる場となりました。

今回の韓国視察を通じて、「市場」「組織」「人材」が密接に結びついていることを実感しました。価値提供型ビジネスへの転換、人材投資、国境を越えた現場連携など、今後の印刷業界にとって重要な方向性が明確になったと思います。韓国市場のスピード感と挑戦姿勢から得た学びを、日本の印刷業界にどのように活かすかが今後の重要なテーマであると感じました。

最後に、食べ物は本当にどれもおいしく、発酵食品が多いことから終始お腹の調子がとても良く快腸でした（笑）。



コニカミノルタプロプリントソリューション코리아



カンジャンケジャン



運動中w



ピョルマダン図書館

# 印刷業から地域創生へ — 井上総合印刷の挑戦

## サステナブル経営で地域課題に向き合う企業視察報告

サステナブル委員会 委員長 松下 忠

### はじめに

当委員会は、「サステナブルなスモールビジネスの研究」を主題に掲げ、小規模企業が地域社会とともに持続的に発展していくための本質を探究してまいりました。その活動の最中、当委員会委員である宮本氏が経営していた株式会社みやもとは、株式会社井上総合印刷へ吸収合併され、宮本氏自身も同社へ転籍することとなりました。これは単なる企業統合ではなく、地域文化事業をいかに継承していくかという、私たちが研究してきたテーマそのものに直結する出来事でした。

これまでの委員会活動の詳細な研究成果につきましては、後日発行予定の『強いジャグラの教科書』にて報告する予定とし、本稿ではその研究の一環として実施した企業視察についてご報告いたします。



井上加容子社長

2026年2月13日、サステナブル委員会として株式会社井上総合印刷様が運営される「大谷グランド・センター」を視察し、井上会長ならびに井上社長よりお話を伺いました。

### 井上総合印刷の歩み — 理念が企業価値を高める構造

株式会社井上総合印刷は、1966年創業、栃木県宇都宮市に本社を構える総合型印刷会社であり、ジャグラ栃木県支部会員企業です。社員数は100名を超え、地域において確固たる存在感を示す企業の一つです。

同社は創業以来、「お客様が満足する印刷物を提供し、地域社会に貢献する」という理念を掲げ、ガリ版印刷からスタートした印刷業を文化的貢献の手段として位置づけてこられました。創業期には地元商店街のコミュニティである「商店会」を立ち上げ、イベントの開催や共同出版に取り組みました。自費出版が一般的でない時代に、地

域の人々の想いを形にしてきたのです。その精神は現在も季刊誌『しもつけの心』として自費発行され、地域に根付いています。

同社が宇都宮市より「宇都宮まちづくり貢献企業」として認定されていることは、その実践が社会的にも評価されている証左といえるでしょう。



季刊誌しもつけの心

### 人を大切にする経営

同社には社員寮があります。これは県外からの雇用確保を目的としたものではなく、かつて社員が老朽化したアパートで生活していた状況を受け、生活支援の一環として整備されたものです。現在も複数の社員とその家族が利用しており、家賃は光熱水道費込みで月額3万円に抑えられています。単なる福利厚生にとどまらず、社員とその家族の負担を大きく軽減し、生活基盤を支える仕組みとして機能しています。そこには「人を大切にする」という経営姿勢が明確に表れています。

### 地域文化事業の継承 — 人を含めて守る決断

当委員会委員である宮本氏が経営していた株式会社みやもとは、地域文化情報誌『ヒビコレうつのみや』の発行や、『栃木の武将藤原秀郷をヒーローにする会』の活動を通じて、宇都宮の歴史と文化を現代に伝えてきました。

しかし、委員会活動の最中、オフセット輪転業を主軸としてきた同社は、ペーパーレス化の進展という時代の波の中で、経営難という厳しい局面に直面していました。複数の企業が統合候補として名乗りを上げ、金銭面でより好条件を提示する企業もありましたが、いずれも社員の転籍を前提としない提案でした。社員を含めて受け入れる姿勢を示したのは井上社長のみであったと宮本氏は語ります。それは、両社の「人を含めて事業である」という価値観が一致した瞬間でもありました。その背景には、ジャグラ会員として培われてきた絆があったことも付言しておきたいと思います。

こうして吸収合併が実現し、文化事業と雇用は守られました。この決断は、地域への責任を果たす経営判断であったといえるでしょう。



ヒビコレうつのみや



前列右から 井上会長、井上社長と委員会視察メンバー

### 大谷グランド・センター — 地域価値の再創造

井上総合印刷が新たに取り組む観光事業の象徴が「大谷グランド・センター」です。

廃墟施設を再生し、アートと食を融合させた文化創造拠点として開業しました。地域資源である「大谷石（おおやいし）」に新たな価値を見だし、大谷という土地が持つ歴史と記憶を現代的に再解釈しながら、新たな形で提示する挑戦です。

観光施設を自費で開業するには莫大な投資が伴います。当委員会の「スモールビジネス」の研究テーマから見れば、その規模は決して小さいものではありません。しかし、長年にわたる地域との信頼の積み重ねと多角的な事業展開こそが、この挑戦を可能にした礎であると考えます。この地道なプロセスこそが、小規模企業が取り組むべき原点なのだと感じました。

その具体的な魅力と可能性については、宮本委員からの報告に譲ります。本施設が地域再生に向けた新たな挑戦であることは間違いありません。

## 印刷会社が目指す！文化創造拠点『大谷グランド・センター』

サステナブル委員会 委員  
株式会社井上総合印刷

宮本 誠

松下委員長からご紹介いただいたように、昨年10月より井上総合印刷の一員として歩みを進め、早くも半年が経とうとしています。新設いただいた『地域デザイン事業部』では、これまで私が行ってきた地域活性化事業などを継続しながら、新たに『大谷グランド・センター』の事業にも携わり、忙しくも充実した日々を過ごしています。

大谷グランド・センターのある宇都宮市大谷町は、約2000万年前の火山灰の堆積により生まれた大谷石の産地であり、建築家フランク・ロイド・ライトの設計により1923年に完成した帝国ホテルの建材としても知られています。大谷グランド・センターは、大谷石産業の隆盛期に大宴会場を備えた浴場施設として1967年に開業しました。大谷石の山頂に建てられた、岩肌と建築が一体となった大谷を象徴する希少な建築でしたが、今回の再生開業に至るまでの30数年は、知る人ぞ知る廃墟となっていました。

新築では再現できないこの再生プロジェクトは、弊社社長の井上加容子を中心に、施設運営・飲食・アート・設計・再生工事と各分



浴場跡を使った常設インスタレーションの展示風景

### おわりに

本稿は、サステナブル委員会による企業視察の記録です。株式会社井上総合印刷様の取り組みは、宇都宮の歴史と文化を継承し発展させる挑戦であり、人を育み、地域とのつながりを大切にする経営の実践でもあります。その根底には、私たちグラフィックサービス業が地域とともに価値を創出する使命、そしてジャグラ会員として培われてきた絆が息づいていると感じました。

これらの活動は行政から直接的な資金支援を受けるものではありませんが、公民連携の枠組みの中で信頼関係を築きながら、結果として企業価値の向上と事業基盤の安定へと結びついています。

理念に基づくサステナブル経営のあり方を、私たち業界として改めて考える機会となりました。

最後に、本視察に際し貴重なお時間を賜りました井上会長、井上社長をはじめ、井上総合印刷の皆様にご心より御礼申し上げます。

以上をもちまして、本視察報告といたします。



大谷グランド・センター

野の先鋭が集結し、取得して4年・構想から4年・建築期間1年という9年の歳月をかけて開業に至りました。廃墟を活かした斬新な再生建築手法や、世界的に注目を集めるアーティスト『YOSHIROTTEN』による、数千万年の時を経て形成された大谷石と産業として続いてきた人の営みを表現したインスタレーション作品は、設計業界やカルチャー系メディアからも注目を集めています。

この事業のプロジェクトメンバーには、栃木出身で各業界の第一線で活躍する方々にプロデュースを担っていただいています。設計士、レストラン、パティスリーと、それぞれの立場から郷土への想いを存分に注いでいただいています。またスタッフは各地からのUターン就職の場となり、文化創造とともに地域活性化の拠点となれることを目指しています。

正直なところ、好みがかかるほど相当に尖った施設かもしれません。来る5月30日には、関東地方協議会大会の企画として、大谷グランド・センターと井上総合印刷の工場見学ツアーが予定されています。ぜひ当社の地方創生の取り組みと、栃木で“時の人”となっている井上加容子の心意気を体感していただければ幸いです。

# SPACE-21 広報部 SPACE-21 全国交流キャラバン山梨

SPACE-21 幹事 金子 貴博  
(株)金精社



SPACE-21 全国交流キャラバンが2月20日(金)に開催され、全国から多くの青年部メンバーが山梨の地に集結しました。

前日にはプレイベントとして小澤代表幹事の会社見学会が企画され、有志メンバーで訪問させていただきました。会社の沿革、社員教育、独自システムの工程管理や単品損益管理と参考になるお話を聞いて大変勉強になりました。新しくリニューアルされた会社は社員さんの想像力とやる気を引き出せるような洗練された空間が広がっており、環境づくりへのこだわりが強く感じられました。内容の濃い会社見学会だったため、時間もあっという間に過ぎてしまいましたが、こちらはまたの機会に訪問させていただこうと思います。見学会の後は、老舗料理店「佐渡屋」に場所を移し懇親会へ。翌日が本番ということもあり、この日はほどよいところでお開きに。

そして迎えたキャラバン当日。今回のテーマは「地域資源を世界ブランドへ！ 勝沼醸造様に学ぶ、企業のブランディング戦略」と題した講演とトークセッションが行われました。登壇したのは「勝沼醸造株式会社」代表取締役会長 有賀雄二氏と、「株式会社アドヴォネクスト」代表取締役社長 井上雅博氏。

初めに井上社長より「山梨の印刷会社が始めた！地域×印刷の価値共創」と題して講演していただきました。印刷会社でありながら最近では農業分野でも活躍されており、農業分野から脱炭素社会の実現を目指す取り組みを行っているとのことでした。具体的には「中干し期間の延長」「稲藁すきこみ」といった取り組みです。また、農業就労者の高齢化による廃業、それに伴う耕作放棄地の増加などを目の当たりにし、地域の景観を守りたい一念で法人化を決定し、農業に本格参入したとのことでした。

次に登壇されたのは有賀会長。勝沼醸造様のワイン造りの根底にはこの土地ならではの風土。いわゆる「テロワール」への強いこだわりだそうです。単にワインを造ること

ではなく、付加価値の高い世界に通じるワイン造り。造り手としてだけでなく、ワイン文化そのものを担う存在でありたいという思いが語られました。その象徴が日本固有のぶどう品種「甲州」へのこだわりです。長い歴史を持つこの品種の可能性を信じ、追求し続けている。特に主力ブランド「アルガブランカ」は世界市場で高い評価を獲得しているそうです。土地と品種に徹底的に向き合う姿勢こそが、勝沼醸造様のワイン造りの原点であり、世界へ挑戦し続ける理由なのだと感じさせる講演でした。

講演後は工場の中を見学し、その後お待ちかねの「アルガブランカ」の試飲も体験。山梨の自然と技術から生まれるワインの味わいに、参加者からは感嘆の声が上がっていました。

懇親会は勝沼醸造様の直営店である「レストランテ風」にて開催。こちらは長崎の大浦天主堂をイメージして建てられただけあり、内装は天井が高く神聖さと荘厳さを感じさせる雰囲気。窓からは勝沼の町並みを一望でき、夜景も楽しめる素晴らしい会場の中、松谷副代表幹事の乾杯挨拶で宴が始まりました。講演の中で試飲したワインはもちろん、なんとと言っても東海林副代表幹事が大絶賛していた特選和牛のローストビーフをはじめとした料理が振る舞われ、その味は前評判以上の声が多く聞こえてきました。食事と会話を楽しみながら交流を深め、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

今回の交流キャラバンは小澤代表幹事の任期最後の事業として山梨で開催されましたが、山梨の魅力を存分に感じられる内容とともに、全国の青年部同士のつながりをさらに深める貴重な機会となりました。参加者それぞれが今回得た学びや刺激を持ち帰り、自社での活動につなげていくことを期待いたします。

今回の交流キャラバンで小澤代表幹事をはじめ、準備に尽力された AUC の皆様に感謝するとともにこの交流が今後の青年部活動のさらなる発展につながっていくことを願っています。



2026年4月

## HOT NEWS

# おすすめ番組情報

いますぐチェック!  
ジャグラ BB | 🔍

後継者の生の声にや。

小さい時からとおっしゃいましたよね 継ごうかな、やろうかなど

カテゴリー ▶ セミナー ▶ 経営者向け

**中国地協セミナー  
「印刷会社の事業承継」【器】  
—継ぐモノ—**

【発表者】  
株式会社中本本店 中本 達久氏  
株式会社ニシキコネク 宮崎 慧氏

【ファシリテーター】  
JaGra 中国地方協議会 会長 山本 康彦氏

### BTube への映像データ募集中!

スマートフォンで簡単投稿♪

study ビジネスマナー研修の事前視聴用に!  
カテゴリー ▶ 教育と技術 ▶ ビジネスマナー

【後半】今日から始める - 信頼設計 - ビジネスマナー基本研修 2026年版  
多様化する働き方に合わせ、対面とオンライン両方で信頼を築く「共通言語」としての型や考え方を解説します。

ジャグラ BB は、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

## ジャグラ

### 「単品損益管理の教科書」を発売 収益改善と人材育成のツール

MIS 研究委員会

MIS 研究委員会（稲満信祐委員長）はこのほど、会員企業向けに収益改善と人材育成を支援する「単品損益管理の教科書」（単品損益かんりのススメ）を発売した。同書はジャグラコンパクト DX 事業の一つとして、単品損益管理をテーマとして MIS 研究委員会が検証してきた取り組みをまとめている。

単品損益とは何か、そのメリットやスループット調査票の活用方法、実際のケーススタディまでイラストをふんだんに使い、分かりやすく掲載されている。どんぶり勘定から脱却するための実用書として活用ください。追加購入希望は、一冊 5,500 円（税込、送料別）で販売。問い合わせは、本部事務局まで。



## 会員の動き

### “秋田に恋してメモ帳”を企画制作 観光やイベント誘致のノベルティに くまがい印刷

秋田県支部のくまがい印刷（熊谷正司社長）は、（一社）秋田観光コンベンション協会向けに、秋田市の魅力を情緒豊かに伝えるオリジナルメモ帳「秋田に恋してメモ帳」を企画提案し、制作した。

同メモ帳は、観光誘致および MICE 誘致での活用を想定し、「秋田へ行ってみたい」という気持ちを自然に醸成することを目的としたノベルティになる。

開発の背景として、昨今、全国的なイベント、大会誘致が活発化する中、“開催地としての魅力付け”は自治体・観光団体における重要なテーマとなっている。なかでも旅の印象は景色や食だけでなく「空気感」や「人の温度」など感覚的な要素が

大きく影響する。そこでくまがい印刷は秋田の空の広さ、光の柔らかさ、人の温かさ、文化など、「言葉では説明しづらい魅力」を日本語コピーと描き起こしの線画で表現したメモ帳を企画。同商品は、秋田市出身の若手新人

女性営業と、男鹿市出身の若手女性デザイナーがそれぞれの視点を持ち寄りながら企画・制作した。

#### ■ 主な特長

- 1) 秋田市の情緒を表現したキャッチコピー 50 種  
例)「空が広い。秋田が待っている。」「おいしい旅がしたいなら秋田。」「秋田のやさしさは、文化にも宿る。」観光・文化・自然・人柄・イベント誘致の視点から制作した 50 種類のコピーにより、秋田市の魅力を多面的かつ感情的に伝える。
- 2) 描き起こし秋田イメージイラスト  
写真では伝えきれない柔らかさや空気感を、手書きのオリジナル線画で表現。ポスターやガイドパンフレットでは得られない「静けさ」や「空気の透明度」を感じられるデザイン。
- 3) 持続的な PR 効果  
メモ帳は長期で使用される実用品。日々繰り返し手に触れることで、“秋田市”が自然に記憶へ定着する。

同社ではメモ帳を全国大会・学会参加者への配布や誘致活動での自治体との意見交換時、商談会や展示会の資料添付品、観光 PR ブースでの配布、修学旅行誘致向けの配布・記念品など長期的なブランディングツールとしての活用を想定している。

今後の取り組みとして、本メモ帳の制作を皮切りに、観光地売店やオンラインショップ等での販売を検討し、“秋田を持ち



帰る土産”としての普及を目指すほか、秋田の魅力を伝えるノベルティシリーズ（うちわ、カレンダー、クリアファイル・しおり等）の展開を検討し、秋田の情緒をデザインとして形にする取り組みを継続していくという。



## 事務局日誌と 今後の予定

最新情報は HP でご確認ください

### 3月の事務局日誌

- 2日 広報委員会 (Web 会議) 70 周年記念誌編集委員会 (Web 会議)
- 3日 会員拡大委員会 (Web 会議) 正副会長会議 (Web 会議) 業態進化委員会 (Web 会議)
- 4日 P マーク審査会・個人情報保護委員会 (本部) 東京グラフィックス理事会 (本部) →田中専務
- 5日 作品展委員会 (Web 会議)
- 9日 JIPDEC プライバシーマーク指定審査機関連絡会議 (Web 会議) →田中専務、今田
- 10日 ジャグラショートカット委員会 (Web 会議)
- 11日 日印産連ステコミ→岡本会長、田中専務
- 17日 JPA、東印工組 合同セミナー (茗溪会館) →岡本会長、田中専務、笠原
- 18日 日印産連理事会 (Web 会議) →岡本会長
- 19日 理事会 (本部) 地域活性化委員会 (Web 会議)
- 24日 SPACE-21 幹事会 (Web 会議)
- 26日 P マーク現地審査 (大阪) 田中専務、笠原 作品展委員会 (Web 会議)
- 27日 P マーク現地審査 (大阪) 田中専務、笠原

### 4月のスケジュール

- 1日 広報委員会 (Web 会議)
- 2日 JPA 入学式→田中専務 P マーク現地審査 (茨城) →笠原
- 8~9日 ジャグラ作品展一次審査会 (本部) ジャグラコンテスト委員会 (Web 会議)
- 13日 P マーク現地審査 (福島) →田中専務
- 14日 P マーク現地審査 (福島) →田中専務
- 16日 関地協事務総会 (Web 会議)
- 18日 SPACE-21 総会 (香川) →岡本会長、田中専務、笠原 SPACE-21 四国結成式・フォーラム→岡本会長、田中専務、笠原
- 21日 会員拡大委員会 (Web 会議) 業態進化委員会 (ウェビナー) 日印産連環境顕彰制度 WG →田中専務
- 22日 ジャグラ作品展最終審査会 (本部) →岡本会長、田中専務

### 5月のスケジュール

- 1日 正副会長会議 (Web 会議)
- 8日 定期監査 (本部) 理事会 (本部)
- 11日 日印産連ステコミ→田中専務
- 14日 P マーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
- 16日 中国地協総会→原田副会長
- 18日 P マーク現地審査 (大阪) →田中専務
- 19日 P マーク現地審査 (京都) →田中専務
- 20日 JP2026 (1日目) →岡本会長、田中専務
- 21日 JP2026 (2日目) →岡本会長 P マーク現地審査 (愛知) →田中専務
- 22日 JP2026 (3日目) →岡本会長、田中専務 P マーク現地審査 (愛知) →笠原
- 27日 東京グラフィックス総会→岡本会長、田中専務
- 29日 東北地協総会 (山形) →岡本会長 北海道支部総会 (札幌) →田中専務
- 30日 関東地協見学会 (栃木) →岡本会長、田中専務

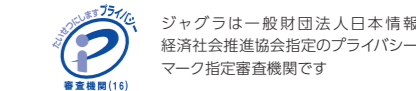
## 事・務・局・便・り

皆様はじめまして。この度ジャグラ事務局の一員となりました賀山（かやま）と申します。私の苗字は少し珍しい漢字を使うので初対面の方に読み方を聞かれることもあります。この機会に覚えていただくと嬉しいです。私生活では中学 2 年生・小学 4 年生、二人の子どもを育てる母親であり、子ども達にパワーをもらいながら（慌ただしく）過ごしております。仕事においても一日も早く皆様のお力になれるよう努力していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。（賀山）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

## 月刊「グラフィックサービス」893号

■発行日 令和 8 年 4 月 10 日 (毎月 1 回)  
■発行人 岡本 泰  
■編集人 本村 豪経  
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

### ◎企画：ジャグラ広報委員会

担当事務 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長  
委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事  
委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷  
谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)  
野口 聡 東京 / (株)アクティブ  
小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング  
安達 睦男 大分 / (株)舞鶴孔版  
瀬尾 淳 広島 / (株)広瀬印刷  
三宮 健司 高知 / (株)三宮印刷  
佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ  
西谷 毅 東京・文京 / 西谷印刷(株)  
松谷 勝広 東京・文京 / (株)松谷メールサービス  
笹井 靖夫 東京・文京 / 共立速記印刷(株)  
田中 良平 専務理事  
◎原稿・編集・校正 田中 良平 阿部奈津子 長野未奈美 笠原賢一郎 賀山 良枝

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平  
◎広告 田中 良平  
◎Web 阿部奈津子  
◎動画 笠原賢一郎

◎組版 (株)クリエイツ (大分県支部)  
DTP = Adobe CC ほか  
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA ※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂 (高知県支部)  
RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf  
CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)  
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F  
印刷機 = RYOBI 924D  
インキ = 東洋インキ  
用紙 = 三菱ニューVマット A判 57.5kg

Copyright 2026 JaGra  
禁無断引用  
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です  
原則、TM や ® マークは省略しています  
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

【雑学コラムお題の答え】 横浜 航

# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



### RMGT-CSPIが

### SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

